

ほっとハッと通信

柏子どもの文化連絡会

2020.6月

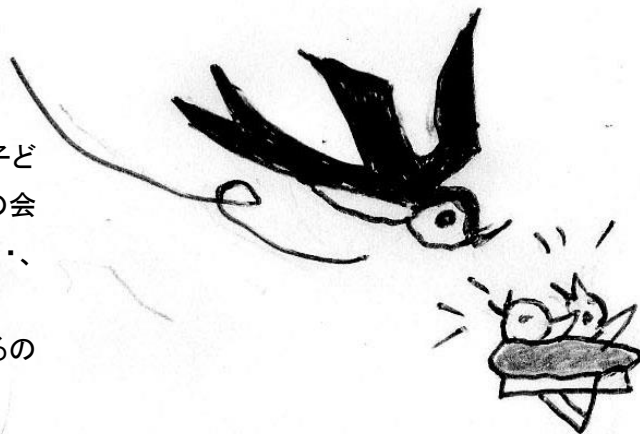
2020年6月22日発行 NO.223
発行者 柏子どもの文化連絡会

with コロナ

手探いの活動再開

コロナ禍といういまだかつて経験のない事態が、日頃子どもに関わる活動に取り組んでいる柏子どもの文化連絡会の会員の前に立ち上がった。そして、緊急事態宣言の解除…、学校も再開、社会が少しずつ動き出した。

子どもたちや親子に向けてどんな形で再び活動ができるのか？今号では、団体会員 11 団体にアンケートを実施した。



活動再開に関するアンケート

- ① コロナ自粛期間中、団体の活動は？
 - a.自粛のため休みにした
 - b.工夫して活動した
 - c.その他
- ② 活動再開の予定（すでに開始の場合も）を教えてください
- ③ 活動再開に際して、困っていることや他の団体に聞いてみたいことはありますか？
- ④ その他のご意見

質問①の自粛期間中（千葉県に緊急事態宣言が発令された4月初旬～5月下旬）における団体の活動については、11 団体中 10 団体が a.「人を集めての事業は何一つできなかったが、各事業部の情報共有や今後の活動については、LINE や ZOOM をつかって会議は行えた。また、会員向け情報紙は、紙媒体でなくメール配信で行った」（NPO こどもすぱーす柏）

「活動は休みにしたがInstagramにメンバーの自粛中の個人の取り組み（マスク作りや家庭菜園など）を発信（人形劇サークルてんとう虫）というところもあった。

質問②以下は、各団体ごとに紹介する。



《柏子どもの文化連絡会って？》

1994 年発足。人と人のつながりの中で子どもたちの心が豊かに育ってほしいと願って活動しています。

2011 年度には、子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣より表彰を受けました。

★現在の主な活動★

- ・「柏市おはなし会 S' わくわく人形劇まつり」
- ・「増尾のもりでいっしょにあそぼう！」
- ・小学生以上の子どもの居場所「The みんなのひろば」
- ・会報「ほっとハッと通信」発行
- ・障がいのある子どもたちへの情報紙「るって！」発行
- ・講演会などの企画



会員を募集しています

子どもや子育てに関わる活動をしている方や、活動に参加してみたい方大歓迎です。事務局までお問い合わせください。

《2020 年 6 月現在の会員数／団体 11・個人 58・賛助 2》

事務局
携帯 090-7708-0691
Fax 04(7108)1771
E-mail

kashiwakobunren@gmail.com

URL <http://kashiwa-kobunren.jimdo.com/>



特定非営利活動法人 NPO こどもすぺーす柏

②活動再開

・7/19(日) 青少年センターキャンプ場でデイキャンプ 調理して食事やあそびを行うので、3密にならない様これから計画。

例えば、調理は少ないメニューで火の通ったものを、食事は向かい合った備え付けのテーブルを使用せず間隔を空けて横並びで、あそびはタッチのないものを、など検討中。市の施設利用なので、市の指針と、会として適切な対応がなされているか両方加味して実施。その時に厳しいと判断した時は中止も考慮している。

・9/20~22(土~月) 水海道あすなろの里でキャンプ・・・子どもゆめ基金の助成がおりているため、申請当初の実施日より1か月延期しての計画。こちらは、国の規定、県の指針、会の方針の3方向で検討していく。

・毎月1回30分程度のおはなし会を実施していたが、代替方法として5分ほどの動画配信を検討中。

・8月以降の室内での講座や舞台鑑賞を予定しているが、実施の判断は、状況をもて柔軟に対応する。

③困っていることや他の団体に聞いてみたいこと

緊急事態宣言が解除されステップ3の段階に入ったが、終息はしていないので、事業を行う際会として実施の可否を判断するのが難しい。また、行政の指針に従う事をもって、安全が保障されるのならば問題はないが、更に主催者として安心できると判断するにはどこまで考えればいいのか難しい。現状に対する考え方の個人差が大きいこと、今まで経験したことのない事態であることが理由です。

例えば、市の施設では、定員を半数にして利用再開にしているが、おはなし会や鑑賞会など、こどもを集めるイベントについて、施設からの制限や定員を守れば大丈夫なのかどうかということです。

④その他

・こんな事態になるなんて、3月の休校要請が出た頃には思ってもいませんでしたが、これから

with コロナとして、生活様式を変えていくしかない覚悟はしています。

日々成長している子どもたちにとって、延期できる時間なんて何一つありません。できるだけのことを、みんなで知恵を絞ってやっていきたいと思います。



おはなしあっぷっぷ

②活動再開

依頼されているところから再開してくださいの連絡がくれば、検討して再開予定。

③困っていることや他の団体に聞いてみたいこと

再開する場合、借りている施設のコロナ対策に応じて開催していく予定だが、マスク使用のため表情が見えにくく伝わりづらいのではと心配がある。他団体で工夫していることがあれば教えていただきたい。

④ その他

今後終息していくのに時間がかかると思われるし、お腹に赤ちゃんのいるママは恐くて外に出られないと思います。もし、やってくださる団体があれば、インターネットの配信は大いに賛成です。

おはなしおはなしグーチョコキパー

②活動再開

6/16より近隣センターで活動開始、メンバーで今後のことを話し合いました。毎月開催していたおはなし会が7/21再開予定となり、主催の児童センターより、「定員を今までの半数に、観客はマスク着用(小さな子は例外)、演じる側同士も出来るだけ距離を保つ、観客との距離をもつ」などを守って欲しいとのことで、まずは演目を演者同士の距離を保つため人形劇ではなく絵本とスライドなど、1人が語るものにするなど工夫することを決めました。観客と演者の間に、シールドを貼るなども検討中。

その後児童センターより、イベント再開そのものについて検討しなおすとの連絡があり、その結果を今月末まで待つことになりました。

③困っていることや他の団体に聞いてみたいこと
他の団体がどういう工夫をするかを聞いてみたい
です。

④ その他

コロナとの共存がある限り、ビデオやテレビとは違う『生』のよさや、子どもたちとやりとりをしながら、おはなしをすすめていく参加型のスタイルという、私たちの今まで大切にしてきたやり方がむずかしいと感じています。何ができるか、どうするべきかを模索していくこととなります。

おもちゃ図書館かたつむり

②活動再開

未定です。秋ぐらいに状況を見て再開するか検討する予定。

③困っていることや他の団体に聞いてみたいこと

- ・活動再開をする判断の基準と言うか目安がわからなくて困っています。

- ・私たちの活動は、小さい子どもや障害のある子、また活動メンバーには高齢者が多いことや、おもちゃなどの遊具を使うので、感染に対して細心の注意が必要です、子育て支援活動や、保育業務をされている方から、現在どのように活動されているか、どのようにすれば安心してよいのかお聞きしたいです。

④ その他

私たちの活動は、不要不急の活動に入るのか、活動メンバーには、利用者としての立場の人もいて、ステイホームだけで世の中のためになるといわれると、活動することは良いことではないとも思えます。ジレンマの中で悩みます。

子育て支援サロン「ママの井戸端かいぎ」

②活動再開

再開は未定。これからメンバーで集まって今後のことを検討します。(6/9時点)

③困っていることや他の団体に聞いてみたいこと

3歳までの親子が対象の、参加者不特定の活動。「こういうときこそ開いてあげたい」と思うけれど、感染リスクを考えると、親子を集めることには戸惑いがあります。

柏・この本だいすきの会

②活動再開

施設がオープンしたらと思います。ただし、会員が電車やバスを利用する人も多いので、無理(リスクのあるとき)はしたくないので検討します。

意見を交換しあう会なので、静かには無理かな。



茶道に親しむ会

②活動再開

6月21日人数制限ながら、再開します。近隣センターが飲食禁止になっていて、一般の方々へのお誘いはどうしたらいいか?戸惑います。

どんぐりころころ

②活動再開

どんぐりころころは、ずっと自粛したままです。活動拠点がくりの木子ども園ということもあり、もう少しの間このままでいようと思っています。

活動再開の時を、くりの木の『夏まつり』に合わせて、と初めの頃は思っていました。今の状況、その夏まつりもどのような形になるか、7月が始まってみないと分からないと思います。

くりの木の敷地の中に、荷物や道具を置く場所を頂き、そこを練習場所にして、やっていけそうなのですが、何しろ1歳から6歳の小さな子どもたちが居る場所を安全に保つことが最優先。夏まつりの先の公演までに、元の様子に戻れたら嬉しいです。



人形劇サークル「てんとう虫」

②活動再開

6/3 から沼南保健センターの利用が始まり、活動を再開しました。

・自分と家族、また他の人々のことなど考えて、お休みする方など自由参加としましたので、少人数での集まりとなりましたが、今年度どのように活動するかなど話し合いました。

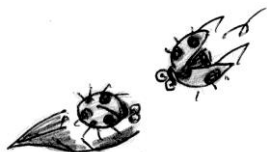
・3蜜をさけるため、予定していた30分のお話は中止としました。

③困っていることや他の団体に聞いてみたいこと

・3蜜を避けられない状況の活動上、どのように活動に取り組んでいますか？

・公演は具体的にどのように行いますか？

・公演予定はありますか？



まるペ楽団

②活動再開

とりあえず、お盆の海キャンプは来られる人で実施しようと思う。

初夏の定期演奏会を中止し、秋の例年出演していた地域のイベントも中止が決まっているので、本年度の演奏活動は無し。秋ごろに第2波が来なければ、親睦のバーベキュー等企画しようかと考えている。

実際に活動を再開するのは、年末のスケジュール。曲決め会議からかと。

新規事業である、絵本の図書館も、告知なしのひっそり開業になるかと。

④その他

目に見える活動がなくても、まるペ楽団の練習場所・集会所である、音楽室がある限り、まるペ楽団はあり続けるので、

そこだけは維持していきたいと思っています。

コロナが終息した後に、

「お帰りっ！！」って迎えられたいです。



ミニシアターはらぺこくん

②活動再開

7月から練習開始予定。7月の定例おはなし会は、6月に練習が出来ないこと、会場の確保が確定できないため、中止とした。

6月から毎週火曜日に集まって、活動を再開しようと思っていたが、練習場所（松葉町4-7集会所）から、6月いっぱい集会所貸し出しをしないという知らせがあった。

尚、毎年9月に行って来ている「4年生～大人のための怖いお話会」は、会場となるモラージュ柏のホール貸し出しの目処が全く付かないため、今年度は中止とした。

③困っていることや他の団体に聞いてみたいこと

なるようにしかならないので特に困ってはいないが、通常の活動が確保されること、子どもや保護者の方々に何かを提供することが出来ることの有り難さを再認識している。

他の団体（おななし会関係外も含む）とは、随時、それぞれが個別に連絡を取り合っていると思われます。

「再開のための基準」をどう考えるか、知りたいと思います。

他業種の観客を入れる活動については、それぞれさまざまな対応をしているのを見ます。

まるペ楽団「ちいさなちいさな 絵本の図書館」お知らせとお願い

まるペ楽団音楽室を、絵本の図書館として開放して、親子でも子どもだけでも、ふらっと立ち寄れる場所にしたいと思っています。

だれも読まない絵本・重複しちゃった絵本などをお持ちの方、絵本を寄贈していただませんか？柏市内および近郊の方でしたら、1冊だけでも、ご指定の日時に受け取りに伺います。よろしくお願ひします。公開開始は本がある程度そろった時点で、コロナ含めてタイミングを見て。原則、貸し出しはしない。音楽室内で読んでもらう形にします。

連絡先 mail : info@oto-hito.jp

☎04-7197-5455

藤田浩子の 少し昔のこと 〈63〉

コロナとカタカナ語

コロナのことを国民に知らせる役割の新聞やテレビなど、きちんと知らせたいと思ったら、もう少し親切に日本語でわかりやすく伝えてほしいと思っています。

クラスターと言わずに「感染者集団」とか「集団感染」と言ってもらえれば、誰にでもわかるのに。パンデミックというのは、ひとつの病気が世界的に流行することだそうですけれど、それなら「世界的流行病」とか「国際的大流行病」とか言ってもらったほうがわかりやすいと思います。オーバーシュートはスポーツの言葉だと思っていた私です。

もちろん前後の文面から考えて、爆発的に患者が増えたことを言うらしいと推察しますが、あくまで「らしい」の推察です。「爆発的增加」という日本語ならしっかりわかります。



「うちにいましょう」と言えば、だれでもわかるのに、なんで「ステイホーム」なのでしょう。驚いたことに、テレビで若いお兄ちゃんが「ステイホーム」の看板を持って宣伝をしていました。美男美女のスターがにっこり笑って「戦争に協力しましょう」の看板を持ったときのことを思い、ぞっとしました。

明治時代、たくさんの外国語がはいつてきたときに、言葉の専門家が日本語への変換に悩んだようです。でもあの時代の人たちは、日本語もしっかりわかっていたし漢字もたくさん知っていたからでしょうか、上手だなと思います。ベースボールが野球、フットボールが蹴球、バスケットボールは籠球と訳されました。カタカナをそのまま使うにしてもクラブが「倶楽部」俱(とも)に楽しむ部(仲間)。カタログが「型録」いろいろな型を録(うつしとる)。上手な当て字だなと思います。明治時代に戻ってほしいわけではありませんが、その心意気を受け継いでほしいものです。

リレー連載 <196>

わたしの大好きな絵本

こばやし まさこ (手作り絵本教室・代表)

『わたしのワンピース』

作：西巻 茅子

こぐま社

わたしは、間もなく 80 歳を迎えるおばあちゃんですが、絵本が大好きです。“絵本は子どもたちだけのものではない”が持論で、今でも自分のために絵本を買い求めています。

そんな絵本たちの中で、いちばん大好きな『わたしのワンピース』は、これまでにどれだけの回数を二人の息子たちにそして孫たちに、更には近所の子どもたちにも、読んでやったことでしょうか。

この絵本は、今から 50 年前に刊行されました。絵本なのだから“絵を見てわかる本”をめざした作者の思いは、当時はかなり斬新だったに違いありません。

こうして書いている今、私の心の中で「ラララン ロロン」のリズムが、心地好い余韻となってリフレインされるのを覚えます。

ラララン ロロン ランロンロン・・・



⇒ 月 月 月 <3
 ⇒ ファミリー <3
 NO.71 日常へ



「日常」がいかにありがたいか。暑くなってきたので徐々に体を慣らし日常に戻っていきましょう。
 Lady Mama

《次回運営委員会》

6/26(金)9:30~11:30 永楽台近隣センター会議室 A
 ※このような状況なので、運営委員のみでの開催といたします。
 ご了承ください

配慮して開催します!

情報コーナー

掲載の情報は、新型コロナウイルスの状況次第で中止や変更の場合もあります。お問合せを!

◆みんひろ(The みんなのひろば)

「みんひろ」は子文連が永楽台児童センターと共催で取り組む小学生以上の子どもの居場所。毎月第2土曜日の午後、卓球、工作におしゃべりなど自由に過ごせます。

とき 7月11日(土)午後1:30~4:30

ところ 永楽台児童センター

内容 工作「スイカうちわ」・「風鈴」その他卓球、ボードゲームほか自由に過ごせます。

問合せ 永楽台児童センター ☎04-7163-4050

◆柏ゆうび&フリースクールゆうび小さな学園 ☆

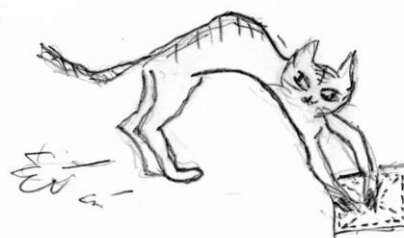
＜不登校生の胸の内の想い支援の手だてを探る会＞

とき 7月11日(土)午後2:30~4:30

ところ 柏ゆうび (バス柏駅西口3番乗り場13:50、14:11発 柏06系統(免許センター行など)「新宿台」下車)

内容 不登校生がおうちにいる方、いた方、不登校生、不登校生だった方、関係者、関心のある方、どなたでもお誘い合ってお出かけ下さい。お茶を飲みながら、ゆったりお話ししましょう

問合せ ☎04-7146-3501 URL <http://www.yuubi.org/>



《こちらほっとハッと通信局》

web版のみ発行となった5月、会員の皆さんにはメールで、協賛者の皆様にはハガキでその旨お知らせしました。ホームページがあることを初めて知ったという方がほとんどで、ショック(´_`;) 毎月アップしてましたが知っていただく努力が足りなかったことを深く反省しました。「藤田さんの文章はいつもハッとさせられますね。語り継ぐ大切さに沁みます」「カットが素敵」など、嬉しい反応もたくさんありました。今号もwebのみの発行です。(通信局)

先月号に、次号は6/11(木)発行予定とお知らせしましたが、遅れて申し訳ありません。次号(NO.224)は7/9(木)発行予定です。情報など6/25(木)までにお寄せください。発行は遅れる可能性があります。ご了承ください。

★今月のカット: 田川芳恵さん
 ☆藤田浩子の『少し昔のこと』カット: 門井すみ子さん